

# 令和6年度 学校経営方針（骨子）

練馬区立大泉南小学校  
校長 田村 亜紀子

## 学校経営の基本方針【不易と流行】

### ○不易〈変わらないもの〉

- ・「笑顔あふれる おおみなみ ～自分もよく 相手もよく みんなもよく～」
- ・教育目標 「よく考える子 思いやりがある子 たくましい子」

### ○流行〈今日的な課題として求められているもの〉

- ・2040年以降を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
- ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

※ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的によい状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

## 具体的な学校経営方針

### ○児童の学びの保障

- ・適正な評価を行うための授業展開の構築
- ・タブレット等のICTを活用した授業展開

### ○校内研究を「道徳と特別活動」とする。

#### ●道徳

- ・「考え、議論する道徳」を通して、「自己の生き方を見つめ」、よりよく生きることについての考えを深める。

#### ●特別活動

- ・「自分たちの生活を 自分たちで作り出す」ための活動を考え、実践する
- ・自分たちの実践を振り返り、次に生かす態度を育てる。  
⇒ キャリアパスポートの活用を推進を図る。

## ※令和6年度 大泉南小の現状

### ①研究の成果の発表をする。 ※1 参照

【全国道徳特別活動研究会 全国研究大会】 令和7年1月25日（土）

※練馬区研究賞励校の指定を兼ねる

### ②開校65周年を迎える。

- 5年周年の意義 すべての児童が在籍中に周年行事を経験し、学校への愛着や地域社会の一員への自覚を促す。

## ○内容

- ・記念行事：児童を中心としたお祝いの会  
(児童集会的なものを実施し、いわゆる「式典・祝賀会」はなし)
- ・記念事業：航空写真の撮影⇒記念誌やクリアケースなどの配布  
65周年記念冊子(簡単なもの)

③大二中地区が、小中一貫 発表地区にあたっており、大南が小学校の授業担当である。

## ○小中一貫発表

- ・1地区につき15分程度の実践発表をする。
  - ・クリエイターを中心に、3校で協力して発表する。
- ⇒1年間の取組の中で、できることを整理しておく。

案)小⇒中の交流 6年生の合唱祭りハーサルの見学、生徒会説明会

中⇒小の交流 職場体験、

小⇔中の交流 児童会・生徒会交流(あいさつ運動など)

大南の授業 学年で1学級程度、全部学級会にして、授業後は最後に  
3校合同で講師の講演を聞く

## ④学校の行事の再構築

○夏季休業中の活動 今年度同様、水泳・補習教室はなし

## ○体育的行事、文化的行事

### ●体育的行事

- ・「運動会」の在り方の検討(午前中開催、児童・保護者の参観方法 など)  
給食はなし(延期の場合の措置が難しい)、翌月曜日は振休  
5月最終土曜日に実施

### ●文化的行事

- ・R6は「音楽会」(連合音楽会(5年)と関連できた)
- ・運営方法の検討(児童鑑賞日と保護者鑑賞日、6年生の係 など)  
給食はあり、翌月曜は振休

## ○移動教室

- ・練馬にある3施設(武石、軽井沢、岩井)の中での割り当てになる。
- ・6年⇒年度の前半で実施(感染性の流行などを避けるなどの理由から)  
5年⇒年度の後半で実施(6年の日程が優先的になる)  
※各施設とも、一部改修工事が入る場合がある。  
※宿泊の実施：移動教室(小5・小6)、スキー教室(中1)、宿泊学習(特支)

※1 【全国道徳特別活動研究会 全国研究大会】

(練馬区研究奨励指定校 発表)

日時：令和7年1月25日(土) ⇒ 27日(月)は振休

午前 1時間目 通常授業

2時間目 授業公開 児童は下校

3時間目～ 開会行事、基調提案(道徳、特別活動)

全体講演1(道徳 調査官の講演)

《昼食》

午後 任意の分科会に参加 道徳3つ(低、中、高?)

特活3つ(下、上、クラブ・委員会・行事?)

全体講演2(特活 視学官の講演)

閉会行事